

ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014

「music for the deaf」プレゼンテーション

SOUL FAMILY × 真鍋大度 + 石橋素 + 照岡正樹 + 堤修一

開催日時 : 2014年8月13日 (水) 20:00-21:30 会場 : 象の鼻テラス



真鍋大度 FaltyDL “Straight & Arrow” Photo: Kazuaki Seki

耳の聴こえない人のための音楽

「music for the deaf」の体験型プレゼンテーション

ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014 では、聴覚障害のダンサー SOUL FAMILY とライゾマティクス真鍋大度・石橋素、デバイスエンジニア照岡正樹、iOS アプリ開発 堤修一の共同作業により制作された、触覚デバイス作品「music for the deaf」の体験用デモ機を展示します。

本プレゼンテーションでは、聴覚障害のダンサー SOUL FAMILY が実際に触覚デバイスを使用したショートデモンストレーションを発表する他、真鍋大度、照岡正樹、SOUL FAMILY 他によるトークショーを行います。(当日、iPhone [ios version7 以上]をお持ちの方は、デモンストレーション中に触覚デバイスの機能を体験する専用アプリを配信します)

振動や超低周波などを使用して触覚と聴覚など異なる感覚がクロスする作品制作を行ってきた真鍋大度らが目指す、「目の見えない人のための映像と耳の聴こえない人のための音楽」とは? 「music for the deaf」に組み込んだ技術、音楽を身体感覚に変換するテクノロジーを紹介します。

この機会に、取材や記事掲載にご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

本イベントの内容に関するお問合せ先：ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014 開催事務局
〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通1丁目 象の鼻テラス内
MAIL: info@paratriennale.net TEL: 045-661-0602 FAX: 045-661-0603 担当: 橋爪 (はしづめ)
本イベントに関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先：株式会社サニーサイドアップ
TEL: 03-6894-3200 FAX: 03-5413-3232 担当: 金 (きむ)、齊木 (さいき)、細野 (ほその)


Yokohama Triennale 2014
創造界隈拠点連携プログラム

文化庁


東アジア文化都市
2014横浜
Culture City of East Asia
2014, YOKOHAMA

プログラム内容

①20:00-20:10 「music for the deaf」 デモンストレーション

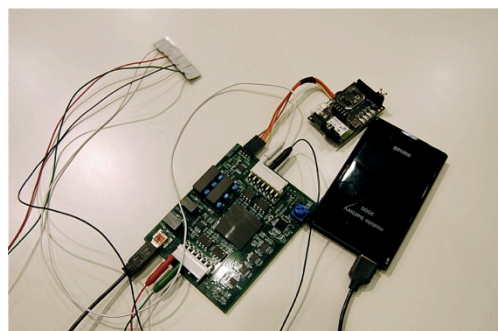
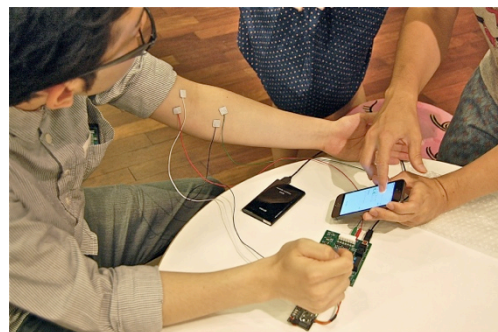
出演：SOUL FAMILY × 真鍋大度+石橋素+照岡正樹+堤修一

②20:30-21:30 「music for the deaf」 トーク

出演(予定)：真鍋大度、照岡正樹、SOUL FAMILY他

聞き手：難波祐子(ヨコハマ・パラボリエンナーレ2014 キュレーター)

※手話通訳付き



【触覚デバイス/実験の様子】

アーティストプロフィール

真鍋 大度

プログラマ/メディアアーティスト。1976年生まれ。東京理科大学理学部数学科、国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)卒業。身近な現象や素材を異なる目線で捉え直し、組み合わせることで作品を制作。高解像度、高臨場感といったリッチな表現を目指すだけでなく、注意深く観察することにより発見できる現象、身体、プログラミング、コンピュータそのものが持つ本質的な面白さに着目している。

石橋 素

エンジニア/アーティスト。1975年生まれ。東京工業大学制御システム工学科、国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)卒業。在学中、当時発売されたばかりの加速度センサー ADXL202 を使い、画面を傾けて遊ぶ『G-Display』を瀬瀬大輝と発表。卒業後は、フリーランスとしてファッションブランドの店内インスタレーションやレセプションパーティーでのインタラクティブ装置を数多く制作。また、ショールームや科学館などの常設展示のインタラクティブシステムのデザイン・制作を行う。2008年、真鍋大度と4nchor51a6を設立。デバイス制作を軸に、数多くの広告プロジェクトやアート作品制作、ワークショップ、ミュージックビデオ制作など、精力的に活動行う。

照岡 正樹

学生時代からインスタレーション制作や、レーザー照明の開発をおこない、1998年にメディアアーティストの長嶋洋一氏らと芸術・技術系の同人「VPP」を結成。その後、さまざまなジャンルの共同制作、研究・開発をおこない、あるいはメディア系の作品制作の際の技術的なサポートをおこなう。触覚系全般、低周波空気振動、生体情報のセンシングを軸に、生理心理学的側面から生体情報のアート表現への活用を模索している。

堤 修一

1978年生まれ。京都大学大学院にて信号処理を学び、NTT データにて音声処理、キヤノンにて画像処理を専門として研究開発に従事。その後カヤックにて iOS アプリ開発者となり、フルスクラッチで 30 本以上のアプリを開発しリリースする。カンヌ国際広告祭や AppStore Best of 2012 等受賞多数。書籍「iOS アプリ開発 達人のレシピ 100」執筆。現在はフリーランス。BluetoothLE を用いて外部デバイスと連携する iOS アプリを多く手がけている。

SOUL FAMILY/ソウル・ファミリー

デフダンサー。全国で唯一聴覚障害者向けの国立大学・筑波技術大学のストリートダンスサークル「Soul Impression」から誕生したダンスチーム「SOUL FAMILY」。ストリートダンスの中で LOCK DANCE を中心に POP や SOUL などの様々な DANCE で全国各地のダンスシーンで活躍する。

開催概要

**「music for the deaf」プレゼンテーション
SOUL FAMILY × 真鍋大度 + 石橋素 + 照岡正樹 + 堤修一**

日時： 8月13日(水) 20:00-21:30 [受付開始：19:30-]

会場： 象の鼻テラス

参加方法： 要事前申込

※パラトリエンナーレWEBサイト内の申込フォームよりお申し込みください。

※FAX(045-0661-0603)、mail(info@paratriennale.net)で象の鼻テラスインフォメーションでも申込を受け付けます。(代表者名/人数/件名に「music for the deaf 申込」とご記入下さい)

参加費： 無料

定員： 80名

申込締切： 8月6日(水)18:00

※応募者多数の場合は抽選となります。抽選結果はe-mail/FAXにて8月7日(木)以降にお知らせいたします。

※iPhone(ios version7以上)をお持ちの方には、当日会場で触覚デバイスの体験用アプリを配信。

主催：横浜ランデヴープロジェクト実行委員会

特定非営利活動法人スローレーベル

共催：横浜市、2014年東アジア文化都市実行委員会

協力：株式会社ライゾマティクス

カラーキネティクス・ジャパン株式会社

ACR技術提供：日本エヴィクサー株式会社

参考資料：ヨコハマ・パラトリエンナーレとは

“障害者”と“多様な分野のプロフェッショナル協働から生まれる現代アートの国際展。

人々の出会いと協働の機会を創出し、誰もが居場所と役割を実感する地域社会の実現を目指します。

■開催概要

ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014

テーマ： first contact -はじめてに出会える場所-

会期： 2014年8月1日(金)～11月3日(月・祝)

※コア期間8月1日(金)～9月7日(日)

会場： 象の鼻テラス


主催： 横浜ランデヴープロジェクト実行委員会*

特定非営利活動法人スローレーベル

共催： 横浜市、2014年東アジア文化都市実行委員会

補助： 平成26年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

後援： 厚生労働省、神奈川県、ブリティッシュ・カウンシル

協賛： 

特別協力： 神奈川県遊技場協同組合・神奈川福祉事業協会

認定：公益社団法人 企業メセナ協議会

協力：アミューズミュージアム、アンスティチュ・フランセ横浜、株式会社伊藤園、ULTRASONE、カラーキネティクス・ジャパン株式会社、株式会社協進印刷、JICA 横浜、ストロークコミュニケーション株式会社、代官山スタジオ、日本エヴィクサー株式会社、横浜市民ギャラリーあざみ野、社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団、株式会社ライゾマティクス、株式会社ルシアン

公式ウェブサイト： <http://www.paratriennale.net/>



Photo : Namiko Kitaura

*横浜ランデヴープロジェクト実行委員会・・・横浜市文化観光局、横浜市健康福祉局、スパイラル/株式会社ワコールアートセンター、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、神奈川新聞社